

# 令和5年1-3月期中小企業（製造業）

## 景況動向調査結果

令和5年4月14日  
群馬県中小企業団体中央会

### 調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和5年3月10日～令和5年3月31日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは250社で、全体の回収率は50.0%となった。回答企業の平均従業員数は52.4人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		95社	45社	47.4%	40.6人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	31	52.5	17.1
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	18	60.0	21.6
紙 加 工 品 製 造 業		32	11	34.4	30.6
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		61	41	67.2	31.4
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	104	46.6	84.3
計		500	250	50.0	52.4

## 6. 要旨

### 「依然として業況低迷が見られる」

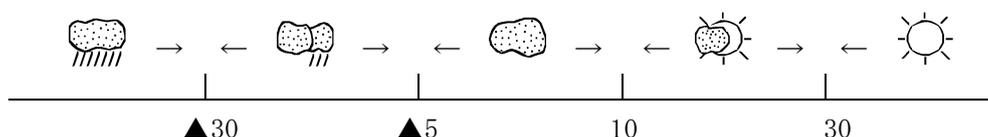
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和4年1-3月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲27.8となり、前回調査（令和4年10-12月期）の▲19.6から8.2ポイント下降している。来期見通しにおいては、10.1ポイント上昇し、▲17.7となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」模様が続き、来期見通しにおいても「小雨」模様が継続する見通しとなっている。

【図表1】

	3年				4年				5年	来期見通
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
全体	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲11.0	 ▲9.0	 ▲29.1	 ▲29.0	 ▲19.0	 ▲19.6	 ▲27.8	 ▲17.7

※景況天気図は「売上高」「収益性」（同期比）のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復0業種、横ばい5業種、悪化3業種となっている。

横ばい…「食料品」  が継続。

「繊維・同製品」  が継続。

「木材・木製品」  が継続。

「窯業・土石製品」  が継続。

「金属・同製品」  が継続。

悪化…「紙・加工品」  → 

「機械・機器」  → 

「プラスチック製品」  → 

来期見通しにおいては、回復4業種、横ばい4業種、悪化0業種となっている。

回復…「食料品」



「紙・加工品」



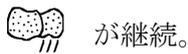
「金属・同製品」



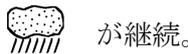
「機械・機器」



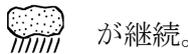
横ばい…「繊維・同製品」



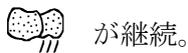
「木材・木製品」



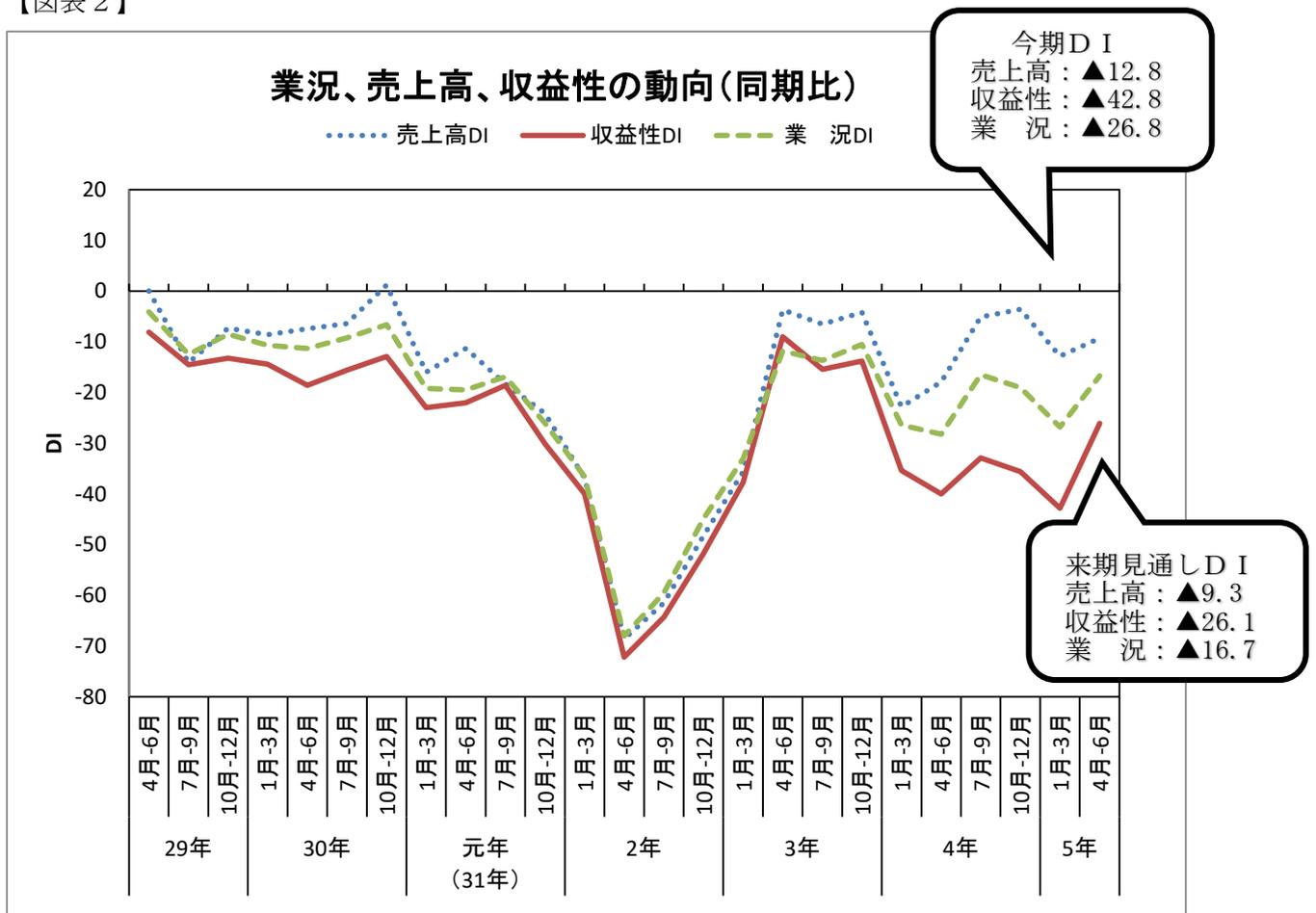
「窯業・土石製品」



「プラスチック製品」



【図表2】

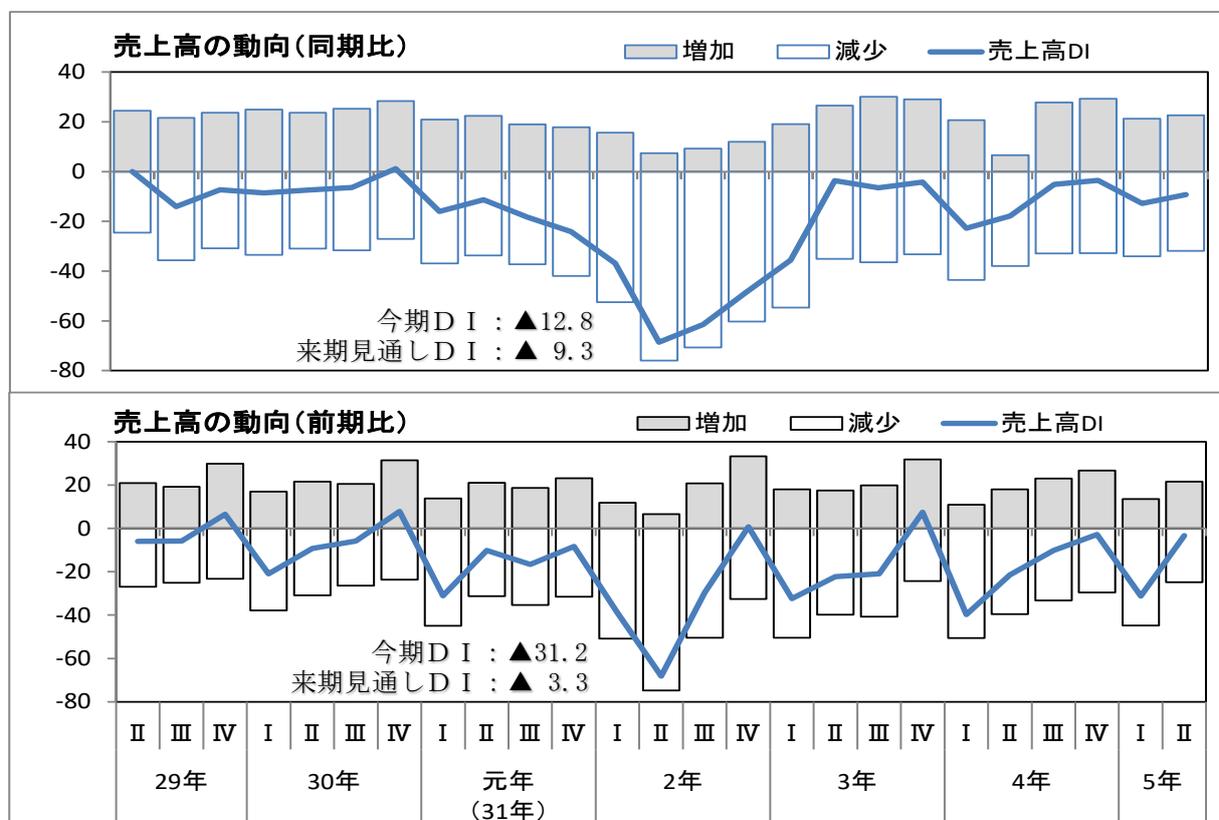


## 7. 項目別調査結果

### (1) 売上高(同期比)

同期比で「増加」したとする企業は21.2%、「減少」したとする企業は34.0%で、DIは▲12.8となり、前回調査の▲3.6から9.2ポイント下降している。来期見通しにおいては、3.5ポイント上昇して▲9.3となる見通しになっている。【図表3、4】

【図表3】



【図表4】

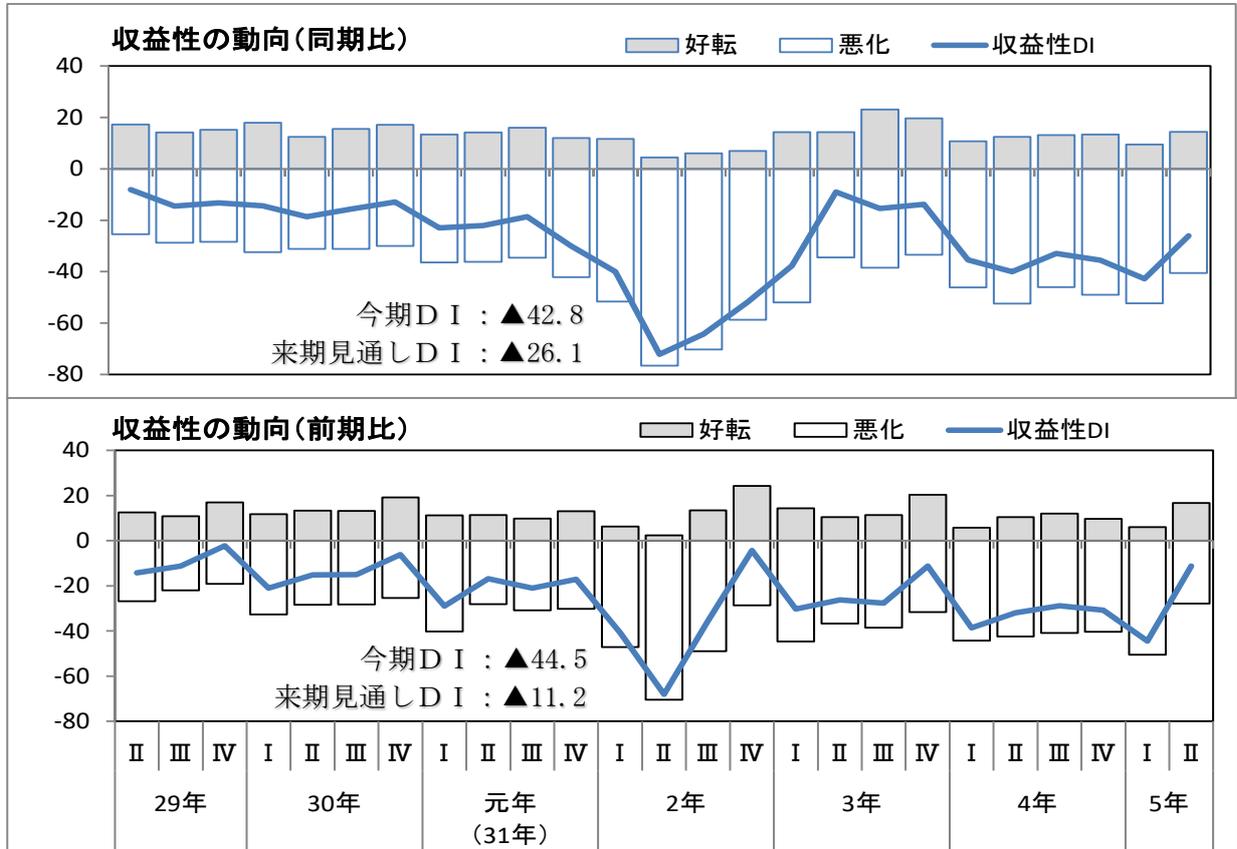
	売上高 同期比			売上高 前期比		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI
食 料 品	24.4	17.8	6.6	13.3	37.8	▲24.5
織 維	35.5	25.8	9.7	19.4	38.7	▲19.3
木 材	0.0	61.1	▲61.1	5.6	61.1	▲55.5
紙・加工品	18.2	36.4	▲18.2	0.0	81.8	▲81.8
窯業・土石	12.2	51.2	▲39.0	17.1	43.9	▲26.8
金 属	32.1	17.9	14.2	17.9	32.1	▲14.2
機 械・機 器	20.6	38.1	▲17.5	11.1	41.3	▲30.2
プラスチック	15.4	30.8	▲15.4	15.4	76.9	▲61.5
合 計	21.2	34.0	▲12.8	13.6	44.8	▲31.2

	売上高見通し 同期比			売上高見通し 前期比		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI
食 料 品	33.3	17.8	15.5	22.5	22.5	0.0
織 維	25.8	25.8	0.0	17.4	26.1	▲8.7
木 材	5.6	50.0	▲44.4	11.1	33.3	▲22.2
紙・加工品	27.3	36.4	▲9.1	45.5	27.3	18.2
窯業・土石	0.0	53.8	▲53.8	2.9	42.9	▲40.0
金 属	35.7	21.4	14.3	35.0	5.0	30.0
機 械・機 器	23.8	28.6	▲4.8	20.4	18.5	1.9
プラスチック	30.8	38.5	▲7.7	53.8	23.1	30.7
合 計	22.6	31.9	▲9.3	21.5	24.8	▲3.3

(2) 収益性(同期比)

同期比で収益性が「好転」したとする企業は9.5%、「悪化」したとする企業は52.3%で、DIは▲42.8となり、前回調査の▲35.6から7.2ポイント下降している。来期見通しにおいては、16.7ポイント上昇して▲26.1となる見通しになっている。【図表5、6】

【図表5】



【図表6】

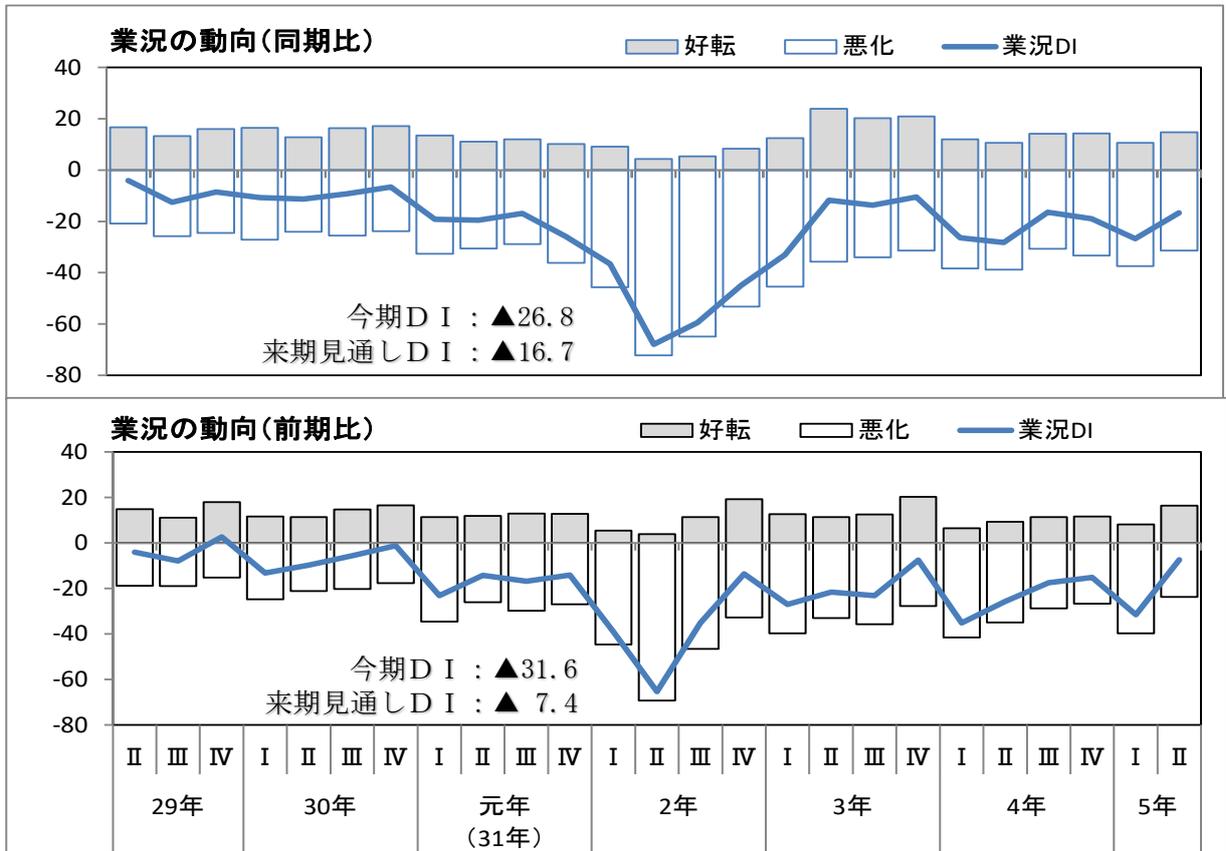
	収益性 同期比			収益性 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	12.8	41.0	▲28.2	0.0	45.0	▲45.0
繊維	17.4	43.5	▲26.1	8.7	47.8	▲39.1
木材	0.0	77.8	▲77.8	5.6	77.8	▲72.2
紙・加工品	0.0	54.5	▲54.5	0.0	72.7	▲72.7
窯業・土石	2.8	58.3	▲55.5	8.3	50.0	▲41.7
金属	4.8	38.1	▲33.3	4.8	42.9	▲38.1
機械・機器	18.4	63.2	▲44.8	5.6	42.6	▲37.0
プラスチック	7.7	38.5	▲30.8	23.1	61.5	▲38.4
合計	9.5	52.3	▲42.8	6.0	50.5	▲44.5

	収益性見通し 同期比			収益性見通し 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	22.5	27.5	▲5.0	20.0	27.5	▲7.5
繊維	8.7	47.8	▲39.1	13.0	30.4	▲17.4
木材	11.1	61.1	▲50.0	5.6	44.4	▲38.8
紙・加工品	18.2	54.5	▲36.3	36.4	36.4	0.0
窯業・土石	0.0	54.3	▲54.3	2.9	40.0	▲37.1
金属	19.0	33.3	▲14.3	28.6	14.3	14.3
機械・機器	14.8	31.5	▲16.7	11.1	18.5	▲7.4
プラスチック	30.8	38.5	▲7.7	53.8	23.1	30.7
合計	14.4	40.5	▲26.1	16.7	27.9	▲11.2

(3) 業況 (同期比)

同期比で業況が「好転」したとする企業は10.6%、「悪化」したとする企業は37.4%で、DIは▲26.8となり、前回調査の▲19.0から7.8ポイント下降している。来期見通しにおいては、10.1ポイント上昇して▲16.7となる見通しになっている。【図表7、8】

【図表7】



【図表8】

	業況 同期比			業況 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	14.0	32.6	▲18.6	9.1	34.1	▲25.0
繊維	19.4	25.8	▲6.4	16.1	22.6	▲6.5
木材	0.0	66.7	▲66.7	5.6	72.2	▲66.6
紙・加工品	0.0	45.5	▲45.5	0.0	63.6	▲63.6
窯業・土石	2.4	43.9	▲41.5	5.0	35.0	▲30.0
金属	14.8	18.5	▲3.7	11.1	29.6	▲18.5
機械・機器	14.3	39.7	▲25.4	4.8	41.3	▲36.5
プラスチック	0.0	41.7	▲41.7	15.4	61.5	▲46.1
合計	10.6	37.4	▲26.8	8.1	39.7	▲31.6

	業況見通し 同期比			業況見通し 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	18.6	18.6	0.0	16.3	25.6	▲9.3
繊維	16.1	22.6	▲6.5	25.8	19.4	6.4
木材	11.1	44.4	▲33.3	5.6	38.9	▲33.3
紙・加工品	18.2	45.5	▲27.3	18.2	27.3	▲9.1
窯業・土石	0.0	46.2	▲46.2	0.0	36.8	▲36.8
金属	18.5	22.2	▲3.7	25.9	11.1	14.8
機械・機器	15.9	31.7	▲15.8	14.3	17.5	▲3.2
プラスチック	30.8	38.5	▲7.7	46.2	23.1	23.1
合計	14.7	31.4	▲16.7	16.4	23.8	▲7.4

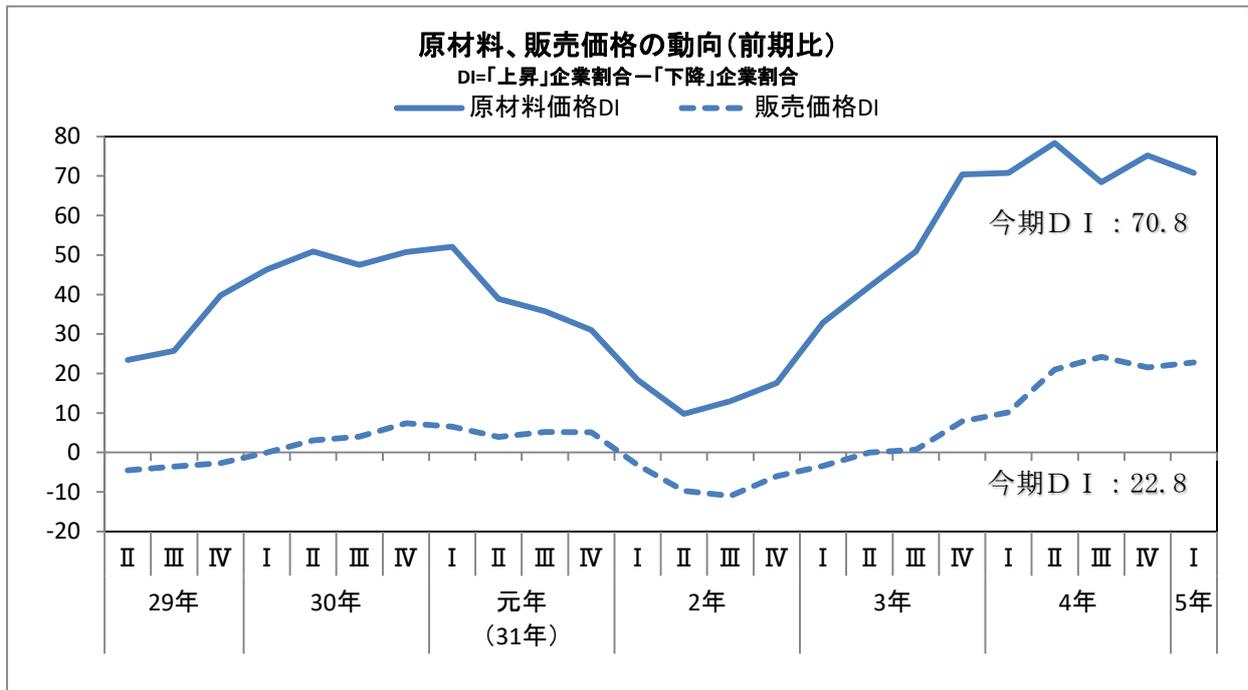
(4) 原材料価格、販売価格（前期比）

原材料価格について、前期比で「上昇」したとする企業は71.3%、「下降」したとする企業は0.5%で、DIについては70.8となり、前回調査の75.2から4.4ポイント下降している。

販売価格については、前期比で「上昇」したとする企業は28.0%、「下降」したとする企業は5.2%で、DIについては22.8となり、前回調査の21.5から1.3ポイント上昇している。

【図表9、10】

【図表9】



【図表10】

	原材料価格 前期比			販売価格 前期比		
	上昇	下降	DI	上昇	下降	DI
食料品	80.0	0.0	80.0	33.3	4.4	28.9
繊維	87.0	0.0	87.0	16.1	9.7	6.4
木材	50.0	5.6	44.4	16.7	27.8	▲ 11.1
紙・加工品	90.9	0.0	90.9	54.5	0.0	54.5
窯業・土石	75.0	0.0	75.0	36.6	2.4	34.2
金属	66.7	0.0	66.7	21.4	0.0	21.4
機械・機器	61.1	0.0	61.1	23.8	3.2	20.6
プラスチック	69.2	0.0	69.2	38.5	0.0	38.5
合計	71.3	0.5	70.8	28.0	5.2	22.8

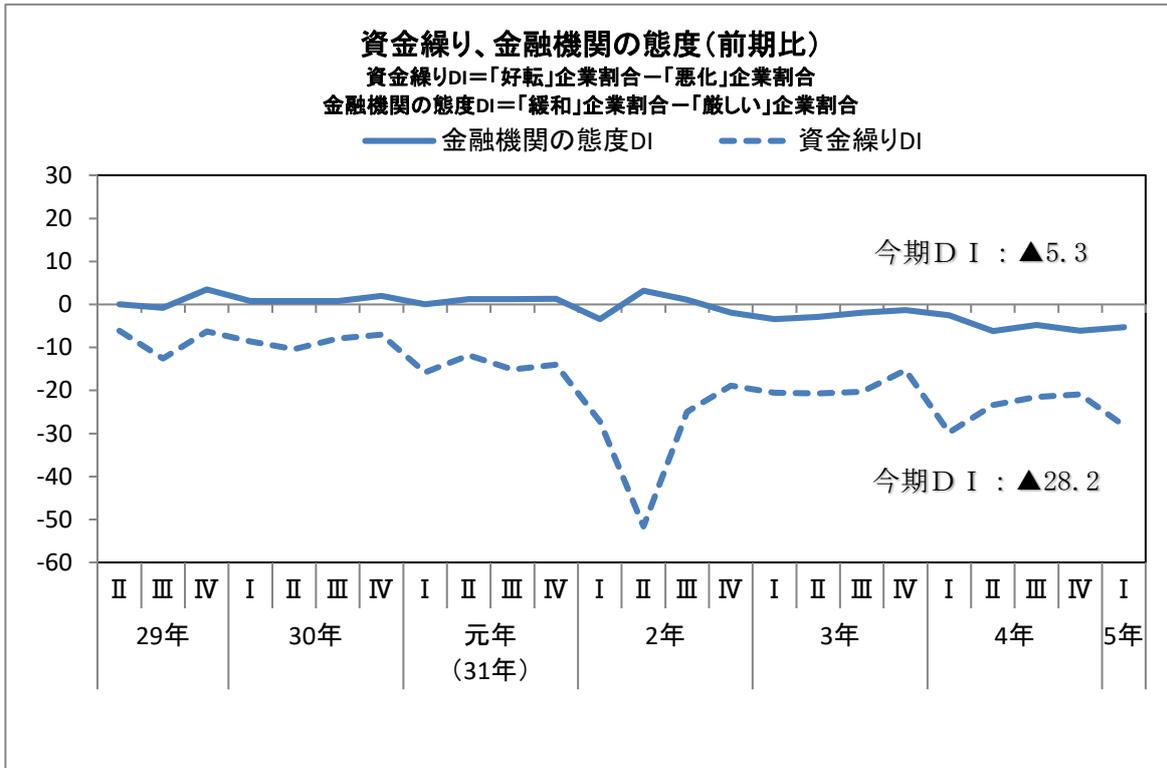
(5) 資金繰り、金融機関の態度 (前期比)

資金繰りについて、前期比で「好転」したとする企業は1.5%、「悪化」したとする企業は29.7%で、DIは▲28.2となり、前回調査の▲20.9から7.3ポイント下降している。

金融機関の態度については、前期比で「緩和」したとする企業は2.1%、「硬化」したとする企業は7.4%で、DIは▲5.3となり、前回調査の▲6.1から0.8ポイント上昇している。

【図表 11、12】

【図表 11】



【図表 12】

	資金繰り 前期比			金融機関の態度 前期比		
	好転	悪化	DI	緩和	硬化	DI
食料品	0.0	24.4	▲ 24.4	0.0	11.4	▲ 11.4
繊維	3.2	35.5	▲ 32.3	0.0	6.9	▲ 6.9
木材	0.0	44.4	▲ 44.4	0.0	22.2	▲ 22.2
紙・加工品	0.0	9.1	▲ 9.1	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	19.5	▲ 19.5	5.1	10.3	▲ 5.2
金属	0.0	25.9	▲ 25.9	3.8	3.8	0.0
機械・機器	12.5	75.0	▲ 62.5	3.2	3.2	0.0
プラスチック	0.0	15.4	▲ 15.4	0.0	0.0	0.0
合計	1.5	29.7	▲ 28.2	2.1	7.4	▲ 5.3

## (6) 設 備 投 資

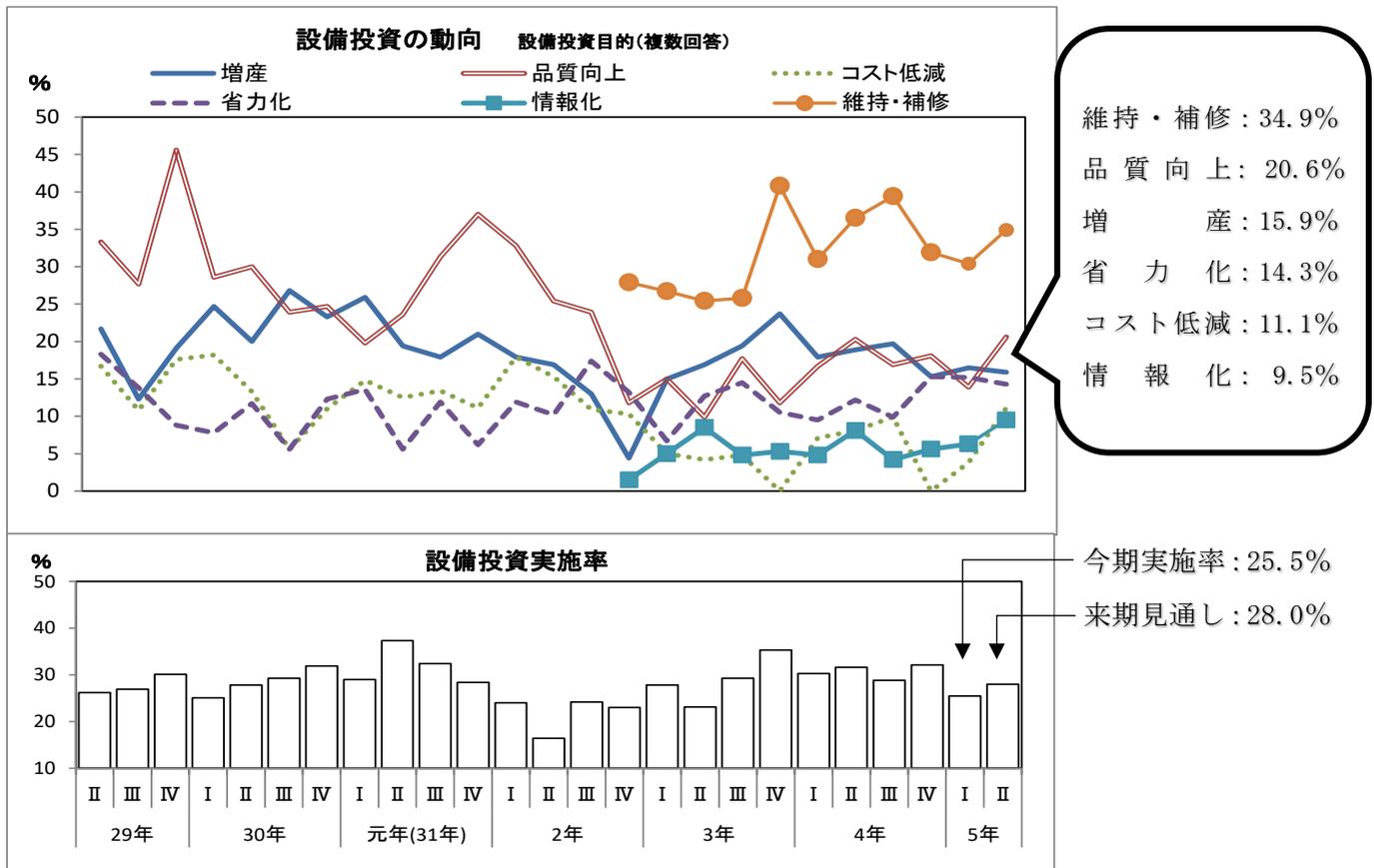
設備投資実施率については25.5%となり、前回調査より6.6ポイント下降している。なお、目的別にみると「維持・補修」が前回調査から4.5ポイント上昇し、34.9%でトップとなっている。

来期の設備投資計画率（令和5年4-6月期の設備投資計画）については28.0%となり、前回調査の31.4%から3.4ポイント下降している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業は5.6%、「下降」したとする企業は31.6%で、DIは▲26.0となり、前回調査の▲6.4から19.6ポイント下降している。

【図表13、14】

【図表13】



【図表14】

	設備投資			設備操業率 前期比			設備投資計画		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI	実施	不実施	DI
食料品	35.6	64.4	▲28.8	10.3	15.4	▲5.1	26.2	73.8	▲47.6
繊維	12.9	87.1	▲74.2	0.0	21.7	▲21.7	13.6	86.4	▲72.8
木材	5.6	94.4	▲88.8	0.0	44.4	▲44.4	26.7	73.3	▲46.6
紙・加工品	27.3	72.7	▲45.4	0.0	54.5	▲54.5	50.0	50.0	0.0
窯業・土石	23.1	76.9	▲53.8	2.8	33.3	▲30.5	27.8	72.2	▲44.4
金属	25.0	75.0	▲50.0	4.8	33.3	▲28.5	16.0	84.0	▲68.0
機械・機器	27.4	72.6	▲45.2	9.3	33.3	▲24.0	32.1	67.9	▲35.8
プラスチック	46.2	53.8	▲7.6	7.7	46.2	▲38.5	60.0	40.0	20.0
合計	25.5	74.5	▲49.0	5.6	31.6	▲26.0	28.0	72.0	▲44.0

【図表 15】

## 食 料 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲7.7	 ▲8.8	 ▲10.8	 5.3
<p>同期比の売上高D Iは6.6、収益性D Iは▲28.2で、両方を合わせたD I平均値は▲10.8となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは16.1ポイントの大幅上昇で5.3となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲24.5、収益性D Iは▲45.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは25.0、設備操業率D Iは▲5.1、設備投資実施率は35.6%、来期の設備投資計画率は26.2%となった。</p>			

【図表 16】

## 織 維 ・ 同 製 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲14.1	 ▲13.3	 ▲8.2	 ▲19.6
<p>同期比の売上高D Iは9.7、収益性D Iは▲26.1で、両方を合わせたD I平均値は▲8.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは11.4ポイントの下降で▲19.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲19.3、収益性D Iは▲39.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは43.5、設備操業率D Iは▲21.7、設備投資実施率は12.9%、来期の設備投資計画率は13.6%となった。</p>			

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合

【図表 17】

## 木 材 ・ 木 製 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲55.9	 ▲66.7	 ▲69.5	 ▲47.2
<p>同期比の売上高D Iは▲61.1、収益性D Iは▲77.8で、両方を合わせたD I平均値は▲69.5となり「雨」模様が続いている。来期見通しは22.3ポイントの大幅上昇で▲47.2となるが、「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲55.5、収益性D Iは▲72.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは11.1、設備操業率D Iは▲44.4、設備投資実施率は5.6%、来期の設備投資計画率は26.7%となった。</p>			

【図表 18】

## 紙 ・ 加 工 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲9.4	 ▲20.8	 ▲36.4	 ▲22.7
<p>同期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iは▲54.5で、両方を合わせたD I平均値は▲36.4となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは13.7ポイントの上昇で▲22.7となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲81.8、収益性D Iは▲72.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲18.2、設備操業率D Iは▲54.5、設備投資実施率は27.3%、来期の設備投資計画率は50.0%となった。</p>			

【図表 19】

## 窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲46.6	 ▲32.1	 ▲47.3	 ▲54.1
<p>同期比の売上高D Iは▲39.0、収益性D Iは▲55.5で、両方を合わせたD I平均値は▲47.3となり「雨」模様が続いている。来期見通しは6.8ポイントの下降で▲54.1となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲26.8、収益性D Iは▲41.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは13.9、設備操業率D Iは▲30.5、設備投資実施率は23.1%、来期の設備投資計画率は27.8%となった。</p>			

【図表 20】

## 金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 1.8	 ▲8.7	 ▲9.6	 0.0
<p>同期比の売上高D Iは14.2、収益性D Iは▲33.3で、両方を合わせたD I平均値は▲9.6となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは9.6ポイントの上昇で0.0となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲14.2、収益性D Iは▲38.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲28.5、設備投資実施率は25.0%、来期の設備投資計画率は16.0%となった。</p>			

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合

【図表 21】

## 機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲17.8	 ▲20.0	 ▲31.2	 ▲10.8
<p>同期比の売上高D Iは▲17.5、収益性D Iは▲44.8で、両方を合わせたD I平均値は▲31.2となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは20.4ポイントの大幅上昇で▲10.8となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲30.2、収益性D Iは▲37.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは9.3、設備操業率D Iは▲24.0、設備投資実施率は27.4%、来期の設備投資計画率は32.1%となった。</p>			

【図表 22】

## プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 4.6	 9.1	 ▲23.1	 ▲7.7
<p>同期比の売上高D Iは▲15.4、収益性D Iは▲30.8で、両方を合わせたD I平均値は▲23.1となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは15.4ポイントの上昇で▲7.7となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲61.5、収益性D Iは▲38.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲23.1、設備操業率D Iは▲38.5、設備投資実施率は46.2%、来期の設備投資計画率は60.0%となった。</p>			

## 群馬県主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数 (鉱工業)		所定外労働時間 (製造業計)		求人倍率 (季節調整値)	
	原指数	同期比	時間	同期比	新規	有効
令和2年	92.9	▲7.1	13.2	▲15.8%	1.78	1.18
令和3年	96.1	3.4	14.4	9.2%	2.06	1.32
令和4年						
1	106.4	24.7	12.9	▲9.6%	2.31	1.38
2	103.8	▲4.4	13.4	▲4.8%	1.98	1.40
3	111.7	▲0.4	14.4	▲5.0%	2.12	1.39
4	94.2	9.5	14.8	▲2.4%	2.36	1.42
5	107.2	26.9	12.9	▲0.6%	2.26	1.44
6	99.6	▲2.5	14.7	1.2時間	2.28	1.46
7	106.3	2.8	16.0	0.0時間	2.33	1.48
8	100.6	24.2	14.9	1.4時間	2.43	1.53
9	95.7	12.9	15.0	0.6時間	2.26	1.53
10	105.0	▲4.9	16.2	2.4時間	2.33	1.54
11	107.6	6.4	15.8	0.9時間	2.37	1.55
12	99.0	5.2	16.3	1.7時間	2.45	1.56
令和5年						
1	76.6	▲28.0	13.7	0.8時間	2.23	1.47
2	—	—	—	—	2.04	1.45
3	—	—	—	—	—	—
資料	県統計課 鉱工業指数 27年=100		県統計課 毎月勤労統計 規模5人以上		群馬労働局 労働市場速報	

項目 年月	自動車販売台数			
	登録自動車		軽自動車	
	台数	同期比	台数	同期比
令和2年	57,706	▲11.5	37,885	▲6.9
令和3年	58,962	2.2	36,749	▲3.0
令和4年				
1	4,671	▲12.8	2,840	▲15.5
2	4,706	▲14.4	3,188	▲17.0
3	6,970	▲12.6	3,911	▲26.1
4	3,600	▲15.9	2,621	▲10.1
5	3,333	▲18.0	2,179	▲24.4
6	4,173	▲14.4	2,179	▲24.4
7	4,615	▲10.3	3,098	7.2
8	3,805	▲12.0	2,495	3.8
9	5,230	23.2	3,493	37.7
10	4,549	21.8	3,509	55.4
11	4,856	1.6	3,661	26.0
12	4,461	▲4.6	3,162	22.7
令和5年				
1	5,260	12.6	3,534	24.4
2	6,120	30.0	3,623	13.6
3	—	—	4,493	14.9
資料	群馬県自動車 販売店協会		群馬県軽自動車協会	